

考えてみよう。お金との正しいつきあい方 ～「明確な使用目的」は正しい借金の出発点～

この時期、忘年会やクリスマス行事、年越し準備と何かと忙しい。「師走」とはよく言ったもので師でなくても忙しい時節だ。また、出費が続く時期でもあり、買い物でキャッシング等を利用する人も多い。油断して使い過ぎ、想像以上の利用金額に慌ててしまったという話も多い。なぜそんな事態に陥いるのか。それは、「お金の使用目的が明確になっていないから」である。

例えば「年末年始に備えて3万円必要」という場合。ここではまだ「明確な使用目的」とは言えない。手元に幾ら使えるお金があり、年末年始をどう過ごす予定で、それに必要な予算は幾らで、結果、必要なキャッシングの額が実際には幾らなのか。

このように具体的に計算すれば、当初3万円

必要と思っていた不足分が実際には2万円で済む場合もあるし、キャッシング自体が不要になるかもしれない。これを当たり前だと思われる人もいると思う。しかし私が消費者金融の現場で気付くことは、むしろ大多数の人が使用目的を明らかにせず借金を繰り返すという事実である。このような人は「2万円しか必要ではないが、1万円余裕を持って借りよう」、こう考え「念のために」借金をする。そして「念のため」の1万円を無計画に浪費し3万円の借金が残る。これを10回繰り返せば10万円も無駄な借金が重なり多重債務者への扉が開かれる。使用目的を明確にすることは無理のない返済計画を立てる上での大前提。キャッシング等を検討されている人は今からでも遅くはない。

明るい気分で新年を迎えられるよう、それが本当に必要なお金をもう一度見直していただきたいと思う。

日本ファイナンス有限公司
下関店 店長 松原 剛
TEL083-234-3544

<http://nihon-finance.com>

借金で苦しむ人への的確なアドバイスで定評がある、消費者金融のプロフェッショナル。弁護士の人脈、債務カウンセリング、真摯に相談に乗る姿勢が認められ、感謝の声が多数寄せられている。ラジオなどのメディア出演を通して、借財に対する正しい認識を広めている。

